

ニュース、催しなどの連絡は

福井市



社会部 ☎0776(57)5117 FAX(57)5146
福井中央支局 ☎0776(26)5111 FAX(26)5112

「地元目線」で

新田義貞考察

南北朝時代の武将新田義貞ゆかりの地、福井市新田塚の住民らでつくる福井・新田塚郷土歴史研究会が「歴史研究学習資料 越前の新田義貞考」を発行した。研究会メンバーが調べた、義貞の人物像や現代に続く地域との関わりなどを紹介。同会事務局の河原俊厚さん(69)＝新田塚2丁目＝は「地元住民や郷土史を学ぶ人たちに、気楽に触れられる資料として役立ててもらいたい」と話している。(野尻幸宏)

越前の新田義貞考

歴史研究学習資料



福井・新田塚郷土歴史研究会が発行した「越前の新田義貞考」

同会は新田塚のまちづくりを考えるに当たり、まずは地域の歴史を知ろうと昨年発足。50～70代の約30人が所属している。

「義貞公の人間像や「脇屋義助(義貞の実弟)の生涯」など、会員がそれぞれのテーマで研究し月1回の定例会で発表、意見交換しながら考察を深めてきた。今回発行した学習資料は、昨年9月から10回にわたり開かれた定例会の内容をまとめた。

前田佐久雄さん(77)＝同会は、「新田一門史」(1975年発行)と、義貞の末裔である嶋田静さん(故人)をテーマにまとめた。50年以上前、福井市内に住んでいた嶋田さんに「私の家は新田義貞の末裔なんです」と打ち明けられたこと

新田塚の団体が資料集 人物像、地域との関係紹介



福井新田塚郷土歴史研究会

「越前の新田義貞考」を発行した福井・新田塚郷土歴史研究会

が調査のきっかけになった。時代から700年の間に興という。今春、嶋田家を訪れ、味深い出来事が多い土地「ね、家系図や「一門史」発」と話し、会員たちは今回の行に至る経緯を示す資料を、発行できさらに研究への意欲を見せてもらったことをつつを高めている。

河原さんは「現在の新田製。希望者には1冊500円、塚は人口の都市集中によって、円で販売する。問い合わせてきたまちで、50年ほどは河原さん＝☎0990(9)の歴史しかないが、南北朝 761) 1448。

西武福井店

願い事を書いたメッセージカードを飾り付ける園児たち＝6日、福井市の西武福井店

「事がかたうようつ思いを込に結びつけていった。折